

半農半劇!?
～農家の演劇体験記～

南阿蘇村にてO2Farm【オーツーフาร์ม】という農家を営んでいます。普段は、無農薬でお米を作り、阿蘇のあか牛を飼ひ、野菜を育てています。山仕事にも取り組み、なぜか田んぼでビーチバレーもします。雄大な阿蘇のカルデラの中、仕事をしながら癒されるという日々。

そんな私が、「ギキョクキクキカク(GKK)」のリーディング公演に参加しようと思ったのは、久しぶりに「ドキドキ」してみたくなったから。演劇なんて全くの素人、学校の観劇会以来、ちゃんと舞台を観たことはほとんどありません。まあ人前で話す練習になればもうけもの、軽く考えての応募でした…。

まずは「オーディション」という響きだけで舞い上がりそうになりつつも、県立劇場へ。熱気に触れ、こちらの心拍数が上がっただけで満足でした。後日、まさかの合格通知が届いても、初体験の期待と不安は無くならず、ただ静かに興奮しておりました。

さてリーディングという言葉すら良く解っていない中で迎えた稽古初日。半分以上が素人なのに、さすがはプロの演出。声の出し方の講義や、体を使ったゲームも織り交ぜた池田

◎熊本の演劇人による月替わりエッセイ。(不定期連載)
今回は、普段は農業を営んでいる大津耕太さん。
昨年の「ギキョクキクキカク(GKK)」で演劇に目覚めたそう。

美樹さん(劇団きらら代表)独特のワークショップ。緊張していた心と体がいつのまにか解きほぐされ、周りとも繋がれるようになりました。思い思いに参加した、職業も経歴も多彩なメンバー。そんなオトナたちが、真剣にひとつの舞台を作り上げる。そんな空気が大好きです。

農業でも機械化が進み、一人で黙々と作業をこなすことが多いもの。そんな時、トラクターの上で台詞を練習してみたり、登場人物を思い描いてみたり、原作に考えを巡らせたり…。連日の稽古で、ヨメさんには「またケイコちゃん？」とあきられつつも、仕事は朝からテキパキ終らせるという相乗効果。

周りとも繋がりつつも、自分の役割をきちんと果たし、お客さんにも楽しんでもらう。演劇に負けないように、私の農場や農業もそうありたいと願っています。

* * *

大津 耕太 おおつ こうた

- ・1975年5月1日熊本市生まれ。
- ・2003年旧白水村で就農。
- ・現南阿蘇村O2Farm代表。
- ・2009年「GKK」に初参加。演劇に魅せられる。

[O2FarmWeb]http://www.aso.ne.jp/~reisu/



ギキョクキクキカク

GKK

2010

3月13日・14日

13:00～20:40 12:00～20:00

熊本県立劇場 / 和室

前売チケット 各公演一律 **¥500** (¥200) 詳しくは右記連絡先またはWebサイトで

ギキョクキクキカクとは
熊本県立劇場が主催する熊本で生まれた「戯曲」を熊本の演出家たちが普通の舞台とは異なる「ドラマリーディング」という手法で上演する企画。文化の地産地消と幅広い交流を目指し開催しています

今回のテーマは 「空」

短編(20分程度)×8本を上演
オーディションで選ばれた方々+地元演劇人=出演人数60余名

上演作品や詳しいスケジュールはWebでチェック!



090-5084-4384 gkk09@kyogikai.net
http://gkk.kyogikai.net/ PC・携帯でもアクセスできます